



平成29年10月19日
～美ら島の未来を拓く～
沖縄総合事務局

GAPの普及推進に向けた講演会の開催について

～GAPの価値を共有するフードチェーン連携パートナー会～

沖縄総合事務局では、食品の安全等を確保し、より良い農業生産を実現する取組であるGAP（農業生産工程管理）の普及推進に向けた講演会を開催します。

1. 日時 平成29年10月31日（火） 13：30～16：30
2. 場所 那覇第2地方合同庁舎1号館2階 大会議室（那覇市おもろまち2-1-1）
3. 議事
 - (1) 講演 GAPは何のためのものか ～GAPの基礎と流通・食品企業の動き～
（認定NPO法人アジア GAP 総合研究所専務理事・事務局長 武田泰明）
 - (2) 講演 沖縄におけるGAPの取組紹介
（任意団体 沖縄GAP協会 岸本公次）
 - (3) その他
GAP関連事業の紹介
（農林水産省生産局農業環境対策課生産工程管理班生産工程管理係長 渡邊弘樹）
HACCPをとりまく状況について
（内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課食品産業振興係長 前里仁志）
パネルディスカッション（質疑応答含む）
4. 参加申込
参加を希望される方は、別紙「参加申込書」に必要事項を御記入の上、FAXで10月27日（金）までにお申込み下さい。定員（100名）になり次第締め切りますので、お早めのお申込みをお願いします。

＜問合せ先＞
内閣府沖縄総合事務局
農林水産部 生産振興課
担当者：金城、平良
TEL：098-866-1653
FAX：098-860-1195

GAPの普及推進に向けた講演会

～GAPの価値を共有するフードチェーン連携パートナー会～



プログラム

無料 ※申込み
必要

講演

1 GAPは何のためのものか

～GAPの基礎と流通・食品企業の動き～

認定NPO法人アジアGAP総合研究所専務理事・事務局長 **武田泰明**

2 沖縄におけるGAPの取組紹介

任意団体 沖縄GAP協会 **岸本公次**

その他 ※講演後に行います。

GAP関連事業の紹介

農林水産省生産局農業環境対策課生産工程管理班生産工程管理係長 **渡邊弘樹**

HACCPをとりまく状況について

内閣府沖縄総合事務局農林水産部食料産業課食品産業振興係長 **前里仁志**

パネルディスカッション (質疑応答含む)

日時

平成29年**10月31日(火)****13:30～16:30**
(受付開始 13:00～)

会場

那覇第2地方合同庁舎1号館2階 大会議室

〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 ※別添「会場案内」をご参照下さい。

申込方法

別添の「参加申込書」にご記入の上、FAXにてお申込下さい。

問合せ

内閣府沖縄総合事務局農林水産部生産振興課 担当：金城、平良

【TEL】 098-866-1653 【FAX】 098-860-1195

GAPの普及推進に向けた講演会 参加申込書

記入欄に御記入の上、下記申込先までFAXにて送信ください。

【申込先】 内閣府沖縄総合事務局農林水産部生産振興課 金城・平良宛て

FAX番号：098-860-1195

【申込期限】 平成29年**10月27日(金)**まで

記入欄

申込日：平成29年 月 日

平成29年10月31日（火）開催の上記講演会への参加を申し込みます。

氏 名	所属・役職	連 絡 先
(フリガナ:)		TEL:
		メール:
(フリガナ:)		TEL:
		メール:
(フリガナ:)		TEL:
		メール:
(フリガナ:)		TEL:
		メール:
(フリガナ:)		TEL:
		メール:

※申込みの際に収集した個人情報については、本講演会の運営に関する事務のために使用し、それ以外の目的に使用することはありません。

会場案内



【会 場】
那覇第2地方合同庁舎
1号館2階 大会議室

【住 所】
那覇市おもろまち2-1-1

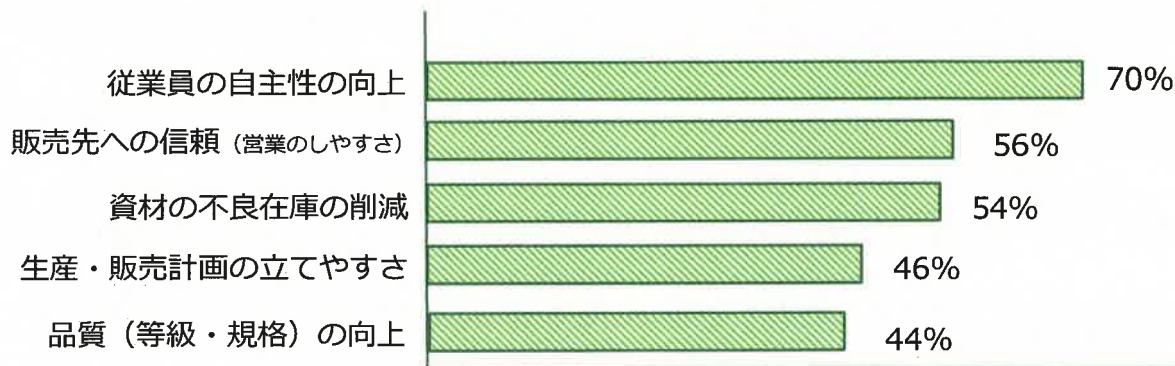
「GAP」でより良い農業生産を！

**GAPとは、
農産物（食品）の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取組！**

- **農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保すること**です。
- 生産者のみなさんは、**生産物の安全**を確保するための生産履歴の記帳を中心に、**環境の保全**、**労働の安全**を確保するための点検などを日頃より行っていることと思います。
- GAPとは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、**農産物（食品）の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取組**です。

GAPを実施すると、経営の改善に効果があります！！

G A P 実施による経営改善効果



「改善した」と回答した者の割合

出典：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1（独）農業・食品産業技術総合研究機構）
を基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

＜コラム＞ 高校生もG A Pに取り組んでいます！

青森県立五所川原農林高校では、これからの農業にはGAPが必要だと考え、校内にGAPチームを結成。

放課後や土日に話し合いを重ね、わずか4ヶ月でGAP認証を取得。（写真）五所川原農林高校



日本では、約4,500の生産者のみなさんがG A P 認証を取得しています！（H29.3現在）

(1) GAPに取り組みましょう！！

まずは農業生産のレベルアップ！！

GAPをする

ステップ1：基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでに組みこんできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



写真提供：(一財)日本GAP協会



ステップ2：チェック項目に従って、農場内を点検！

いつもやっていることですが、問題点を見つけたら改善していきましょう。

食品安全

<日頃の取組>

異物混入の防止、
農薬の適正使用と保管



包装資材のそばに灯油など汚染の
原因となるものを置かない

ほかにも
来訪者への衛生指示

など

環境保全

<日頃の取組>

適切な施肥、土壌浸食の防止、
廃棄物の適正処理・利用



農薬空容器などは分別して処分

ほかにも
水の使用量把握と節水対策

など

労働安全

<日頃の取組>

機械・設備の点検・整備、
作業安全用の保護具の着用



危険箇所の掲示をする

ほかにも
事故防止の作業手順書作成

など

人権保護

家族経営協定の締結、
技能実習生の作業条件遵守

など

農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、
内部点検の実施

など

その他

商品回収テストの実施、
資材仕入先の評価

など

GAPに取り組むときには、専門家の指導を受けることが効果的です。
民間のコンサルタント会社もありますが、営農指導員や普及指導員の中でGAPの指導
ができる方もいます。普及指導センターや農協にも相談してみましょう。

※ 普及指導員や営農指導員から指導が受けられれば、**コンサルタント費用が削減**できます。

※ 農協等では、営農指導員などが指導者研修を受講し、推進体制を整備することが有効です。

(2) GAP認証を取りましょう！！

認証が必要になったら次のステップへ！！

GAP認証をとる

- ・取引先からの要求に応じたい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに出したい
- ・輸出したい

**認証を
取りましょう！！**

ステップ3：準備完了、いざ審査！

- ・審査会社に申込み。(相談はお早めに)
- ・審査員に取組を評価してもらいます。→指摘があれば改善！



ステップ4：ついに認証取得！！

- ・引き続き、より良い農業生産に向けて改善していきましょう！
- ※ 認証取得までに標準で半年～1年程度かかります。
- ※ 認証の有効期間は通常1年間です。
- ※ 認証を取得する場合は一定の費用がかかります。



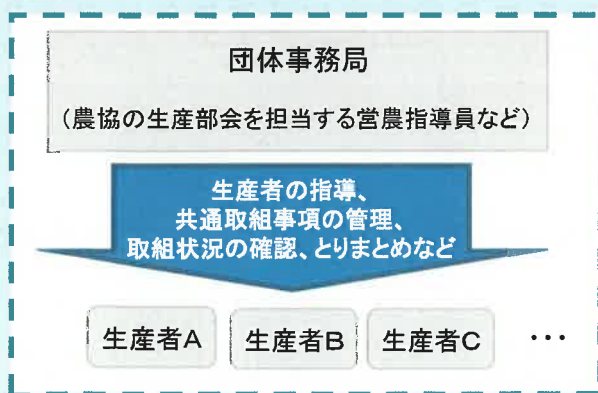
GAP認証の取得で販売先を拡大！！

取引先の要望をよく聞いて、必要な認証を取得しましょう。

	JGAP	GLOBALG.A.P.
オリンピック・パラリンピックの調達基準での要請	○	○
国内販売先の取得要請	△ (一部の大手スーパーなど)	△ (一部の大手スーパーなど)
海外マーケットの現状	△ (台湾、香港、東南アジアで普及推進中)	△ (特にヨーロッパで普及)

団体認証に取組むことで個々の生産者の負担を軽減！！

複数の生産者が集まってグループを構成し、認証取得を目指しましょう！



<団体認証の効果>

- 個別認証で求められる取組の一部が団体の取組として共通化され、個々の生産者の皆さんの負担が軽減されます！
- グループが大きくなるほど、個々の生産者の皆さんの費用負担は軽減します！

※審査費用(例)

個人	団体 (50名の場合：1名あたり)
10万円～55万円程度	2万円～11万円程度

取ってよかったGAP認証！！ ～先行事例～

JA おおいたGAP研究会（大分県）

JGAP

販路拡大を目指し、66人の生産者が集まって、3品目（かんきつ、みつば、いちご）で団体認証を取得！

<特色>

- 導入時には文書等を使用せず目的や必要性を説明し、合意形成実践段階で分かりやすいマニュアルを使用し、生産者の負担軽減
- 団体認証によって、一人当たりの取得費用が低減

<効果>

- 販路拡大につながり、収益が向上
- 農作業事故が減少



農家向け管理マニュアル

JA くるめサラダ菜部会（福岡県）

GLOBALG.A.P.

販路拡大を目指し、団体認証を取得！ 現在、輸出も検討中！

<特色>

- 13人の生産者が集まり、販路拡大やオリパラ東京大会を見据え、認証取得。輸出も検討中。
- ICTを活用した生産管理システムの導入
- 団体認証によって、一人当たりの取得費用が低減

<効果>

- 経営主及び雇用者の安全意識の向上にもつながる



GLOBALG.A.P. の審査

静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所（静岡県）

GLOBALG.A.P.

輸出の推進に向けて、若手生産者を中心に団体認証を取得！

<特色>

- 組合員のうち、まずは若手生産者を中心に、16名（全組合員の約1割）から取得。現在20名に拡大。

<効果>

- 新聞やテレビで何度も取り上げられ、イメージが向上
- タイ、マレーシアへ輸出し、高値で取引



組合員が農場内の点検を実施

（有）ユニオンファーム（茨城県）

JGAP

法人経営の改善に向けてGAP認証を取得！販路の拡大にもつながる。

<特色>

- 様々な取引先に販路を開拓
JGAPのほか有機JAS認証も取得

<効果>

- 納入先からの異物混入等のクレームが減少
- 従業員の責任意識が向上
- 従業員の時間外労働の縮減にもつながる



病害虫の被害を受けた野菜の特徴を写真で共有し、従業員に注意喚起

このパンフレットやGAPについてのお問い合わせ

農林水産省 生産局 農業環境対策課（GAP推進グループ）

HPはこちら ▶ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/index.html>

電話番号 ▶ 03-6744-7188

認証GAPの取組内容（例）

- JGAP や GLOBALG.A.P.では、食品安全や環境保全、労働安全、人権、農場経営管理等に関するチェック項目があります。
- 日頃、皆さんがおこなっている取組に加えて、以下のようなチェック項目に取り組んで、GAP認証を目指しましょう。
- 皆さんの取組の状況について、自己点検をしてみましょう。

① 食品安全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	照明器具の破損による異物混入を防ぐため、例えば、蛍光灯にカバーをつけるなど、破損時の飛散防止対策をしている。	<input type="checkbox"/>
2	農薬散布に使用した防除服を着たまま、収穫作業はおこなわず、必ず着替える。防除服は着用後にほかの服とは分けて洗浄する。	<input type="checkbox"/>
3	収穫や調製時において、農産物と接触する可能性のある機械の稼動部には、食品安全上問題のない潤滑油を使用するなどの対策を講ずる。	<input type="checkbox"/>
4	作業場所で飲食をする場合は、飲食後に清掃し、又は必要に応じて殺菌をして農産物の衛生に影響がないようにする。	<input type="checkbox"/>

② 環境保全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	農産物の洗浄後の廃水は、残さを網などで除去した上で排水する。	<input type="checkbox"/>
2	農場に有機物を投入する場合は、同じ地域内で発生した有機物を優先的に使用し、地域内の資源循環を考慮する。	<input type="checkbox"/>
3	電気や重油、灯油等のエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスである二酸化炭素の発生抑制と省エネルギーに努める。	<input type="checkbox"/>
4	水の使用量に関する行政や地域での取決めなどに従って節水に努める。	<input type="checkbox"/>

③ 労働安全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	ほ場や道路、施設全体の危険な箇所や危険な作業の点検を年1回以上行う。	<input type="checkbox"/>
2	圃場や倉庫などにおける作業上の危険な場所には、事故やケガを防止するために、注意喚起の表示をするなどの対策をおこなう。	<input type="checkbox"/>
3	機械や設備、車両などのリストを整理し、適期に点検や整備、清掃を行い、その記録を保存する。	<input type="checkbox"/>
4	事故発生時のケガに備えて、清潔な水や救急箱がすぐに使えるようになっている。	<input type="checkbox"/>

④ 人権に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	労働者を雇用している場合、休憩時間や作業場の照明の明るさ、有給休暇の取得やメンタルヘルスなどについて、年1回以上話し合いをし、記録する。	<input type="checkbox"/>
2	同じ条件での仕事については、国籍や性別などで賃金に差を設けない。	<input type="checkbox"/>

⑤ 農場経営管理に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	農場や資材管理、労務管理等の各部門の責任者がわかる組織図をつくり、担当者を明確にする。	<input type="checkbox"/>
2	作業者が適切な管理を実施できるよう、教育訓練を行い、その内容を記録する。	<input type="checkbox"/>

⑥ その他

	取組内容(例)	チェック
1	苦情や異常が発生した場合を想定し、商品回収のテストを行う。	<input type="checkbox"/>
2	種苗や資材を購入する際には、購入元業者の信頼性の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>